

会 議 録 (要約筆記)

会 議 名	令和元年度第1回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和元年5月25日(土) 午前10時00分～午前11時40分
開 催 場 所	近江図書館 談話室
出席者および欠席者	出席者：寺村和美委員、井上智子委員 伊藤めぐみ委員、膽吹英子委員、久保田吉則委員、 高橋由紀委員、清水冬子委員、今中雅美委員、岸明宏委員 欠席者：山下秀一委員 事務局：山本教育長、上村部長、今川館長 梶川館長、押谷主事、寺義主事
議 題	正副会長選出について 説明事項 ① 図書館協議会の役割について ② 米原市立図書館の運営について ③ 「平成30年度年報」について ④ 米原市子ども読書推進計画について 協議事項 ① 令和元年度年間事業計画(案)について ② 図書館視察について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	1 令和元年度年間事業計画(案)が承認された。 2 図書館視察候補 視察先：守山市立図書館 時期：10月末から11月上旬
	■教育長挨拶 急に暑くなりましたが、本日はお休みの中お集まりいただきましてありがとうございます。また、今年度から図書館協議会委員として新たな2年間が始まるということで、新たに就任して下さった方、継続して下さった方、大変ありがとうございます。2年の任期で委員に就任していただいておりますが、特に前回の2年間は図書館の運営に係ることを中心にしながら議論を進めていただき、昨年度は米原市立図書館休館日と開館時間について条例改正もさせていただきました。 今年度につきましては、子ども読書活動推進計画の見直しの年に当たっており、今年から来年度中にかけて取りまとめていきたいと思っております。令和という元号が日本の古典から出てきたということで、我々日本人として、日本の文学・古典、言葉に親しむということは、読書に親しむことで、できるだけ子どもたちの読書活動の推進、

そして言葉・文字を大切にするというところを大事にしていきたいと思っております。

これまで、皆様方には色々な要望をいただいております、学校に学校図書館司書を配置するという事を長い間お聞きしておりました。今年度については、15校のうち12校に学校司書を配置し、学校図書館の積極的な活用を図っていく取組をスタートしたところです。来年度には、全ての学校に学校図書館司書を配置するという事で進めてまいりたいと思っております。今後はできるだけ子どもから大人まで読書に親しみ、心の豊かさが市民に広がるとよいと思います。3月の図書館協議会で米原市民の「読書の日」を設置できたらという願いをお話ししましたが皆様からも忌憚ない意見を賜りたいと思っております。

■任命書交付

代表してE委員に教育長から交付

■委員自己紹介

■職員自己紹介

■正副会長選出

会長にA委員、副会長にB委員を選出

■事務局

米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により過半数の御出席を得て定足数に達しておりますので、本会は成立している旨を申し添えます。

次第の報告以下の議事運営については、会長様でお進めいただきますようお願いいたします。

■会長

説明事項に移らせていただきます。まず、図書館協議会の役割と米原市立図書館の運営について、説明を聞いてから皆様から意見や質問をお伺いします。

報告事項（1）図書館協議会の役割について

（2）米原市立図書館の運営について

■事務局

図書館法第3条の図書館の役割を説明。図書館法第14条、米原市立図書館条例第14条、米原市立図書館条例施行規則第15条から第17条により、図書館協議会の役割について説明。

「米原市立図書館サービス基本計画 概要版」「米原市子ども読書

活動推進計画（第2次計画）「ダイジェスト版」により米原市立図書館の運営について説明。

■会長

一人ずつ意見をお願いします。

■副会長

アンケートの結果から、予約・リクエストサービスやレファレンスサービスの利用度がやや低いということですが、満足度は高いので、いい傾向だと思います。更なるPRをするとのことで、方法を検討していかれると思いますが、協議会委員の中でも意見があったら言っていきたいと思います。高齢者福祉施設への貸出冊数が少ないのが気になりました。高齢者施設への貸出であれば、増やししやすい数字かと思えますのでこの工夫はどんどんしていただきたいと思えます。若年層への貸出が何年か前から課題になっていましたが、目標数値に近い値を達成しており、何が良かったのか教えてもらいたいと思えます。

■C委員

図書館の休みや開館時間が変わって、私個人としては不都合な点は全くございませんし、図書館職員の方に少しでも時間的な余裕ができたのではないかと喜んでおります。

■D委員

私は今年度からなので、何も分からないような状況です。何年にもわたって皆さんで協議してくださっている結果がこのようにして表れているのだと思えます。私はこども園の職員なので、子どもに関わることなど色々考えていきたいと思えます。

■E委員

私も今年度から一市民として参加させていただいています。家でも委員になったということで、図書館ってどんな所だろうという話からしていましたが、休館日が分かりにくいです。カレンダーを見ればいいのですが、行きたいときに中々行けないという話をしていました。図書館に行く日を設けて行くのではなく、学校行事や家の用事もない空いた時間に行くので、ゆったりとした雰囲気図書館を利用できたらいいなと考えていました。働き方改革で図書館の方のお休みも十分とっていただかないといけないと思えますし、みんなが楽しく過ごせる空間であればいいなと思えます。

■F委員

私も今年度からということで、今までの取組の成果が現れていると思えます。意見としては2点あります。まず1点目は、米原市の図書

館施設は充実していると思います。学生が来て利用する姿などを見ると過ごしやすい環境を整えてくれていると感じます。2点目は、学校現場の代表として出席していますが、図書館に近い地域の子どもは、子どもだけで来られますが、子どもだけで来られない地域の子どもは、保護者などが読書に興味を持っているかどうかの差が出てくるだろうというのは感じるところで、その分、学校図書館の持つ責任は大きいと思います。

■ G 委員

私も一個人としては休館日が分かりにくいと思います。借りに行こうと思ったときに、今日開館しているのかわからなくなることが多々あります。休館日が変更になって周りの皆さんはどうなのか、少しは慣れてくれたのかということは気になります。

■ H 委員

この資料を熟読させてもらって、いろんな角度から分析されたり、いろんな施策を打たれているのだなということを勉強させていただきました。衝撃的だったのが平成23年と平成27年の間に貸出冊数が右肩下がりに減っているということと、昔多く借りていた年代の人が年を取って50歳以上の割合が増えていて、若者の数が結局増えていないという率直な感想を抱きました。

1週間ほど前に豊洲の図書館に行きましたが、子どもの数が米原市の図書館来館者と比べて多かったです。米原市は遠方の子どもが来づらいですが、豊洲は交通機関が発達しているので、多くの子どもが好きなところに座って本を読んでいます。米原市の図書館では子どもの数よりも高齢の方が一生懸命本を読んでいる姿を見かけます。私も子どもを持つ親の立場として、滋賀県の学力テストの数字なども他府県と比べて点数が低いというのを聞いていますので、本をもっと推奨していかないといけないと思います。子どもの読書率を上げるような施策を、私なりに勉強して図書館運営の力になりたいと思います。

■ I 委員

何年も米原市に学校司書をということを要望しておりましたが、今年度から私の子どもが通っていた小中学校にも配置になりました。現状としてはまだ十分とは言えない状況で、これから足りないところを何とかしていかないとはいけません。少ない時間でも関わって米原市の学校をもう少し変えていかないといけないと思いました。

先ほどから休館日の話が出ていますが、利用者として不便は感じていませんが、これから学校図書館と市立図書館が連携していく上では

かなりマイナスなイメージです。近江図書館で県立図書館からの団体貸出をお願いしましたが、金曜日に使うのに月・火・木曜日と図書館が休館でした。連携をしようとしても、学校が開いているときに図書館が3日間も休みだと困ります。せめて山東・近江のどちらかは開いているように今後は考えてもらいたいと思います。調べ学習をしようという時に、本が全然無い状態では調べ学習ができないので、移行期間は市立図書館ともっと連携し、本で調べて学習するということを実績としてやっていきたいと思います。

■会長

今の月・火・木曜日休館について教育長はどう思われますか。

■教育長

第4木曜日については職員が出勤して資料整理を行っておりますから、本の入れ替えや用意してもらった本の引き取りなどはできると思います。

■会長

学校司書の効果はあったのか、F委員はどう思われますか。

■F委員

学校司書には担任からこの本が授業で欲しいという要望を聞いて取りまとめてもらい、図書館に取りに行ってもらおうという連携の部分で活躍してもらっています。また、4・5月の学校図書館のガイダンスを全クラスにさせていただいており、学校図書館の利用というのは学校教育活動の中に一つの過程として入っているので、その部分でも活躍させていただいています。今後は読み聞かせに限らず学習場面に積極的に入っていただくことを進めていきたいと思います。

■副会長

某小学校の場合は少し前から学校司書に入ってもらっているので、定着してきて動きが落ち着いてきた感じですが、他の学校はまだこれからだと思います。学校司書同士の集まりもまだなされていないので、某小学校の学校司書の方から、そのようなつながりを作っていくたいけれども、自分からの発信は難しいので、教育委員会の方で学校司書同士が交流するような機会を作っていただけるとありがたいとの言葉を聞いています。

報告事項(3)「平成30年度年報」について

(4)米原市子ども読書活動推進計画について

■会長

では（３）と（４）について説明をお願いします。

■事務局

「平成30年度年報」に基づき説明

■会長

一人ずつ意見をお願いします。

■I委員

子ども読書活動推進計画ですが、そもそもどういふことを進めようと思っているのかと思います。現場の学校にいても、たくさん本を読ませようとか、常に本を読ませようとかされていますが、どの本でもいいのかという話になってきます。読解力を上げるために読書を推進するという考えになるかと思いますが、子どもたちが好きな本だけを読んでも読解力はつかないように思います。ですから私は学校で子どもたちができるだけ読解力がつくような本を読んだり、本を読んで対話するといったことを進めていきたいと思っています。ただ、教科書に載っているような本を子どもたちに読むように薦めても、今の子どもたちはなかなか読まないと思います。だから子どもが好きな本と大人が読ませたい本の間をつなげることが大切だと思いますが、学校の先生にそこまでしていただくのは忙しいので難しいと思います。そこで学校司書がせめて週に3日学校にいればそのような活動はしていきます。子どもたちの発達に合わせて薦め、最終的には子どものためになる本を読むように薦めていくことができるので、単にたくさん本を読みましようということをいつも目標に挙げられているのは、私は違うのではないかと思います。

■H委員

滋賀県からしっかりとした子ども読書活動推進計画がでていて趣旨もしっかり書いているので、それに基づいて米原市なら何ができるのかということを考えていったほうがいいかと思います。もちろん市の第2次計画も練りに練られたものだと思いますので、それを第一にしたいと思います。

■G委員

いつも読み聞かせのボランティアをさせてもらっています。まず本を持って行き、こんな本があるというのを見てもらわないと進まないと思います。読解力がつく・つかない以前の話ですが、取りあえず本を手にとって読んでみる、こんな面白い本が図書館・学校図書館に行ったらあるということを知ってもらわないといけないと思っています。

■ F 委員

昨年度、学校でも読書貯金的な活動に取り組むと、子どもたちが選ぶのは先ほどおっしゃったように字の少ない本が多く、中学年や高学年でもそのような子がいました。もっと活字を読み込めるような力をつける必要があると思っていますし、そのためには手に取って、本というものに親しめるというのが第一歩と思って昨年度は取り組みました。その成果として学校図書館に行く割合が増えたというのは一つのステップアップかと思います。次は活字の本を読むことで、高学年だと読む子は分厚い活字の本でも読んでいます。机の横にマイバッグを掛け常に本を入れておき、テストが終わったあとの余った時間など空き時間に読むといった活動をして、できるだけ本に親しめるようにしていますが、そこでですと入れる子と入れない子の格差もありますし、まだまだ課題は大きいです。

2つ目ですが、学校図書館には情報センターの機能もありますし、学習センターの機能も、読書センターの機能もあります。学校では読書はもちろんですが、学習できる場・情報を得る場として本に親しませていきたいと思っています。そのためには学校司書の協力を得ないとなかなか進めていけないと思っています。

■ E 委員

先ほどの学力の問題のことを言うと、うちの子どもは本は読んでいますが、算数の文章題はなかなか読めないのではないかと考えています。学校では本に親しむ必要もあり体を動かす必要もあり、子どもは疲れて帰ってくるので、家でも本を読みなさいと言ったら、たぶん本が嫌いになると思います。ですので、手に取れるところに本を置いてちょっとした空き時間で読めるようにする取組がいいと思いますが、先ほど先生がおっしゃったような時間しかありません。その時にどのような本を手取るかという、活字が多い本は手に取りにくいと思います。親としても、本を嫌いにはなってほしくないし、もう少し活字の本を読んでほしいという思いもあるし、難しいなと思います。

■ D 委員

小さい子どもたちにとっては、自分で見るというよりは誰かに読んでもらって、一緒にその場を楽しむということが大事だと思います。子どもたちの興味を広げ、いろんなタイプの本に出会ってほしいと感じています。どこの園でも読み聞かせはされていますし、子どもにとって遊びの中で絵本の体験が生かせるというか、絵本や遊びが生活の中でつながっていくので、職員としても意識する必要があるかと思

ます。私たちがまずできるのは子どもたちと一緒に絵本を楽しむことで、職員にも絵本を楽しんで欲しいと感じました。

■C委員

先ほどおっしゃった、量のみでよいのかという問題提起は、本当にそのとおりだと思いました。学校と図書館はいろいろ知恵を出し、実践されていると思いますが、もう一つ家庭・家族の比重がもう少し大きくなると、子どもも読書に興味を向けていくと思います。例えば、学校から本を借りて読んでいるのを見て、「その本お母さんも昔読んだわ。面白かったね。」といった会話がある家族というのは子どもが本に入っていくやすいと思います。熱心な人は子どもをおはなし会に連れてきているのを見かけますが、大体メンバーが決まっていると思うので、その参加者を増やす方法を考えていければと思います。

読書で得られるものを実感したら、放っておいても子どもは本を読むと思います。読書で得られたものについて親が子どもに話してもいいし、実際に子どもにさせてあげられたら最高ですけど、そういった方法はないものかと思います。井之口が舞台になったとされる池波正太郎の『上意討ち』や伊吹山が出てくる『けんぼうは1年生』のような身近な所が出てくる話なら共感できると思います。

■副会長

ボランティアは自分の好きな本をそれぞれ読み、ボランティアの人数が多ければ多いほど一人で選ぶのと違っていろんな本に出会えると思っていますので、それを「ボランティア強化に努めます」というところにつないでもらえたらと思います。学校司書の方は次のステップに進みたいと思ってくださっていますが、その一歩手前の本に出会う・生きる力をつけるという所をボランティアがしていけたらよいと思っています。

米原市子ども読書活動推進計画（第2次計画）の活動指標で読書に関する事業開催目標が4回のうち1回しかできていないのはなぜかと思いました。事業だけを新たに行うというのは大変なので、何かの機会の後に開催したらもっとできるのではないかと思います。

学校図書館に図書館の本をお借りして運んでいた時期があったのですが、学校司書が子どもたちに読んでほしいと思う本をもっと簡単に学校に持って行けるような方向に持って行ってもらいたいと思いました。

■会長

4月17日の中日新聞に長浜市立図書館が「子どもの読書活動優秀実

「実践図書館」に選ばれ、文部科学大臣表彰を受けるという記事がありました。この長浜市の取組について館長はどう思われますか。

■事務局

巡回文庫のことですか。

■I委員

学校巡回文庫「おはなしのたからばこ」ですね。各学校に定期的に図書館の本を置いている取組です。小中学校の全クラスに学校巡回文庫を配置している取組などで表彰されたという記事でした。米原市の巡回文庫の取組はもう無くなったんですか。

■会長

米原市もあったのですか。

■教育長

米原市では図書館が中心となり、学校支援地域本部事業の一つとして巡回文庫に取り組んできました。その後、各学校に学校支援地域本部を作りましたので、そちらに移行することになりました。そこで図書ボランティアが図書館で本を選んでいただき団体貸出をするという方向には行きましたが、先ほど言われたように取組が一度消えてしまったので、学校司書にも協力してもらい、もう一度構築していきたいと考えています。学校司書の時間が限定されているので、できればボランティアとして学校図書館に関わる一般市民がもっと増えれば、学校司書とボランティアの連携の中で図書館との連携を更に深めることができます。そのようなことを今後発展的にやっていくべきかと思っています。

■副会長

巡回文庫の時、学校に本を運ぶのもボランティアでした。それが無くなるのが残念で小学校のボランティアに入りました。学校司書が入ってくれることでボランティアが遠慮してしまう面がありますので、学校司書に取組についてもっと言っていただくようにしようと思っています。ボランティアが団体貸出で本を借りていくことで学校司書が責任を感じてくださっていたので、今は学校司書にお任せしますということでボランティアによる団体貸出を止めています。

■教育長

どこまでが学校司書の役割で、ここはボランティアでという調整はこれから進めるべきかと思います。

■副会長

学校司書の先生が「飾り付けだけでボランティアを終わらせなくて

いい」と言ってくれているので、ボランティアは手伝ってほしいことをしますという風になっています。おはなしの読み方の勉強だけでなく、子どもたちが自分から本を読むように進んでいけるようにするためのボランティアの仕方、ただ読んでもらって終わりではなく、その後自分でも読んでみようかという風に進むような声かけなどの勉強をしたいと思っています。

■ I 委員

巡回文庫は子どもたちが様々な本に出会うのには良かったと思います。いろんな種類の本が入っており、普段同じ分野の本しか読んでいない子がいろんな本に触れるよい機会だったので終了したことが残念です。あと、並行読書は教科書でも薦めているので、その単元の時に関連本を置いておけば隙間時間で子どもは読みますし、そこから広がっていくこともあるので、学校図書館だけでなく、図書館で団体貸出をするのなら並行読書の本を定期的に教室に置いておくなどから進めていくのはどうかと思います。並行読書を薦める方法も学校司書は勉強していますので、図書館と学校図書館が連携して進めていけたらいいと思います。

■ 副会長

これからですね。最初は図書館が主となってやっていたけど、今度は学校司書がボランティアと一緒に進めていけるといいですね。

■ 教育長

最終的には学級担任が、こういう学習を展開しているからこういう本を用意してくださいと学校司書に言えるかどうか、あるいはその辺の交流ができるかどうか大切です。ただ先生は先ほど言われたように忙しく、そこまで気が向くかが一つのポイントであり、そのあたりは学校の文化として出していく必要があると思います。いろんな要望を集約できる環境や雰囲気のポイントだと思いますし、先ほどの並行読書はまさにそうだと思います。

■ I 委員

子ども読書推進計画に「並行読書を推進する」という一文が入ると、並行読書ってなんだろうということで進むし、一文入れるだけで違うと思います。

■ 副会長

「子どもの読書活動推進のための方策」で「市立図書館の役割」の所をもう少し詳しくお聞きしたいと思って印をつけていました。また

「市立図書館と学校図書館との連携強化」という連携の何を強化しようとしてくださっているのかというところを、まだこれからだと思いますが、もう少し細かい項目がいただきたいなという思いはありました。

■教育長

次回協議していただくたたき台の中に出していくべきかと思えます。

協議事項（１）令和元年度年間事業計画（案）について

■会長

協議事項に移りたいと思います。協議事項（１）の説明をお願いします。

■事務局

【資料】に基づき説明

■会長

年間事業計画（案）について要望があればお伺いします。なければ次の視察研修に入りますがよろしいですか。説明をお願いします。

協議事項（２）図書館視察研修について

■事務局

この研修は、県内の図書館１～２館を訪問し、その図書館の特色や課題等について教示いただいたり、実際に館内を見学し訪問館の図書館サービスを見せていただく研修です。平成30年度は東近江市立永源寺図書館と能登川図書館、平成29年度は多賀町立図書館と愛荘町立愛知川図書館を視察訪問しました。昨年度は委員同士の親睦も深められ、その後の協議を行っていく上で話しやすくなる、との御意見からぜひとも視察研修を実施してほしいとの要望で実施しました。御希望があれば、実施時期につきましては、10月末から11月初旬に計画し、公用車で行こうと考えております。

視察先につきましては、昨年度、守山市立図書館への要望がありましたが、新館オープンして間もない時期でしたので、見送った経緯があります。すでに行かれた方もおられるかと思いますが、今年でしたら依頼できるかと思えます。あるいは、ほかに視察してみたい図書館の希望がありましたら合わせてよろしく申し上げます。

■I委員

守山市立図書館に行きたいです。

■教育長

昨年度そのような話だったかと思います。

■会長

目的地は守山市立図書館1館だけでよろしいですか。

■教育長

もし途中で行きたいところがあれば調べて、行くかどうか決めてはどうでしょうか。

■会長

行先は守山市立図書館で、日時は事務局にお任せという形でお願いします。

その他についてお願いします。

■事務局

滋賀県の公共図書館協議会の特別委員会において、「としょかん県・しが」のイメージの更なる浸透を目指し、各市町の図書館利用者をモデルにポスターを作成しましたので紹介します。滋賀県の図書館は、図書館振興に力を入れてきました結果、現在その貸出は全国2位であり、専門集団としての「としょかん県・しが」を図書館をまだ利用されていない方への周知も含め、利用促進を図るねらいで作成しました。図書館内や各庁舎、公民館などにも掲示をお願いしておりますので、ぜひご覧ください。

また、第2回図書館協議会についてですが、いつも土曜日に開催させていただいており、御都合よろしければ7月20日（土）、7月27日（土）辺りを考えておりますが、いかがでしょうか。

■会長

午前・午後はどちらですか。

■事務局

御都合の悪い方がおられなければ午前中のほうがよいかと思えます。

■会長

今回は7月20日か7月27日の午前という案ですが、いかがでしょうか。事務局にお任せしてもよろしいですか。

■事務局

内容につきましては事業評価が主となりますので、年報と事前にお配りする資料をお持ちいただくようお願いします。

	<p>閉会の挨拶</p> <p>■副会長</p> <p>図書館の職員さんが、飾り付けや書架見出しなど色々工夫されていてありがたいと思います。そこに私たちの意見を加えてお手伝いしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>■部長</p> <p>国の方では平成29年度から5か年計画で学校司書を1.5校に1人の割合での配置を目指していこうという話です。本市もこれに向けて来年度も学校司書の配置に取り組んでいきたいと思っています。皆さんには2年間お世話になりますが、よろしくお願いします。この協議会は活発に意見を出していただき、積極的・建設的な御意見を頂いております。これをぜひ、子ども読書活動推進計画（第3次計画）に反映していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。本日はありがとうございました。</p>
--	--

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p>■一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>
<p>担 当 課</p>	<p>教育部 米原市立近江図書館 (外線 52-5246)</p>